

● アウトドアに潜む危険性について

近年のアウトドアブームに加え、コロナ禍により3密を避けるため、アウトドアに注目が集まっています。一方で、キャンプ中の火災や登山中の事故が増加しています。アウトドアに潜む危険性を理解して、アウトドアを安全に楽しみましょう。

① **ガス機器の安全な取扱いについて**

ガスカートリッジを使用するガスこんろやガストーチバーナーは、ガス漏れによる爆発の危険性があるので、確実に接続されているか、音や臭いを十分に確認してから点火しましょう。

また、テントの中は換気が悪く、一酸化炭素中毒の危険性があるばかりでなく、テントは燃えやすい素材で作られているものが多いので、テント内でのガス機器の使用は絶対にやめましょう。

② **山火事にご注意を！**

キャンプでたき火をすると、強風などにより火種が飛ばされて枯れ草などに燃え移り、火災が発生する場合がありますので、たき火を行なう場合は、十分に注意しましょう。

また、たばこ火により火災になるケースも多く見られますので、たばこ火の処理は確実に行ないましょう。

③ **山岳遭難に遭わないために**

山の気候は変わりやすく、山頂と山麓では気候が異なる場合がありますので、山の天候や気温、風速などに注意し、安全な登山を楽しみましょう。

また、気象情報に注意し、天候が急変した場合には、勇気を持って中止を決断しましょう。

● 地震火災を防ぐポイント

① 事前の対策

- 住まいの耐震性を確保しましょう。
- 家具等の転倒防止対策（固定）を行いましょよう。
- 感震ブレーカーを設置しましょう。
- ストープ等の暖房機器の周辺は整理整頓し、可燃物を近くに置かないようにしましょう。
- 住宅用消火器等を設置し、使用方法について確認しましょう。
- 住宅用火災警報器を設置しましょう。

② 地震直後の行動

- 停電中は電気器具のスイッチを切るとともに、電源プラグをコンセントから抜きましょう。
- 避難するときはブレーカーを落としましょう。
- 石油ストーブや石油ファンヒーターからの油漏れの有無を確認しましょう。

③ 地震発生からしばらくして

- ガス機器、電気器具及び石油器具の使用を再開するときは、機器に破損がないこと、近くに燃えやすいものがないことを確認しましょう。
- 再通電後は、しばらく電気器具に異常がないか注意を払いましょよう。（煙、臭い）

● 盛岡市内の1月から4月までの火災件数

| | 令和3年 | 平成2年 | 比較増減 |
|------|------|------|------|
| 火災件数 | 22件 | 11件 | 11件増 |
| 死者数 | 2人 | 2人 | 増減なし |

● 令和3年4月中の火災3件の内訳

- 4月 2日 上太田三枚橋 住家1棟及び倉庫1棟全焼 負傷者1名
4月14日 稲荷町 住家1棟全焼
4月19日 大館町 住家1棟ぼや